

真校魅力だより その21

真室川校の伝統と誇りをつなぐ ～幼小高連携～

◆伝承野菜を使った小高合同調理実習(11月15日(火))

真室川校の2年生は、家庭科で伝承野菜の学習を行っており、今年は初めて伝承野菜4種類を植えて収穫を体験したことから、収穫した野菜を使い、同じように伝承野菜の学習に取り組む真室川あさひ小の5年生と合同調理実習を行いました。

高校生と小学生は、お互いに少し緊張した様子でしたがそれもすぐに解け、小学生は高校生のアドバイスを受けながら調理に取り組んでいました。

メニューは下記の5品目と盛り沢山でしたが、協力し合って時間内に完成し、交流を深めながら楽しい昼食会となりました。真室川校2年の栗田聖さんは「合同での調理実習は初めてでしたが、小学生のみんなと仲良く調理して、伝承野菜を美味しく食べることができてとても楽しかったです」と感想を述べてくれました。



当日の献立・松茸風豆ごはん(黒五葉の枝豆、勘次郎胡瓜入り)・甚五右エ門芋のいも煮汁
・にじますの豆腐ハンバーグ(弥四郎ささぎ、勘次郎胡瓜入り)・勘次郎胡瓜の甘酢漬け
・あんみつ(黒五葉の黒豆入り、弥四郎ささぎの餡のせ)

◆たんぽぽこども園で吹奏楽部がミニ演奏会(12月26日(月))

真室川校の吹奏楽部は、十数年前からたんぽぽこども園でミニ演奏会を開催しています。今年は、園児98名の前で「ドラえもん」や鬼滅の刃の主題歌「残響散歌」など子ども達には聴き馴染みのある曲目を演奏したほか、楽器の紹介やじゃんけん大会、最後には子ども達からのアンコールに応えるなど、大変盛り上がった演奏会となりました。

子ども達はとても反応が良く、手拍子をしたり口ずさんだりして楽しんでいました。最後に子ども達から「音がきれいだった」「上手だった」と感想をもらいました。吹奏楽部の櫻本唯さん(1年)は「みんな元気に手拍子をしながら聴いてくれて、演奏をしていてとても楽しかったです」と話してくれました。



ようこそ先輩!! vol.12

真室川高校の卒業生は、様々な職業に就いて多方面で幅広く活躍をしています。そんな先輩方の思いや後輩たちへのメッセージをお届けします。

～人の役に立つ仕事で頑張っています～



えいし
伊藤映史さん(写真右)
(平成7年度 卒業生)

社会福祉法人 新寿会
デイサービスセンター 第二あじさい 勤務

私が通った真高は、豊かな自然に囲まれ、実現したい夢や目的を持った仲間が集い、一人ひとりが活躍しやすいステージが用意されている学校です。高校から始めた銃剣道は、強豪校だったこともあり紆余曲折を経ながら何とか諦めずに3年間部活を続けることができました。生徒会では、会長としてより良い学校づくりに、仲間とともに汗を流したことが今でも印象に残っています。

卒業後、これからの時代は高齢化社会であり、人の役に立つ職業に就きたいと考え、専門学校に進学し、介護福祉士の資格を取得して福祉の世界に入りました。現在は、デイサービスセンターで高齢者の方の日常のお世話やサービス計画を立てています。これまで、学生時代を含めると約千人の方の身体介護や生活支援に携わせて頂き、多くの方々との出会いと別れを通して、人生の尊さや人のために動くことの大切さを学びました。福祉の仕事は社会的に大変意義があり、やりがいがある職業だと思います。私の、何事にもあきらめず立ち向かうチャレンジ精神は、高校時代に銃剣道や生徒会活動で培ったものであり、社会に出てからもとても役立っています。

後輩の皆さんには、自分が一番やりたいと思うことに一生懸命に取り組んで欲しいと思います。そして社会に出たら上司や先輩を見習い、高い視座を持って成長してほしいと思っています。